



PORSCHE カイエン・パナメーラ用 ステアリングリモコンアダプター SRC-PRFB

取付・取扱説明書

販売店様へ
取り付け作業が完了しましたら、この取付・取扱説明書
をお客様へお渡しください。

株式会社ピービー © http://www.pb-jp.com
〒731-0103 広島県広島市安佐南区緑井3-4-29
商品お問い合わせ先：大阪オフィス support@pb-jp.com
〒561-0841 大阪府豊中市名神口3-7-3
TEL.06-6335-0805 FAX.06-6335-0807



もくじ

構成部品・主な仕様 P1	取付機器との接続のしかた	.. P5/P6/P7
安全に正しくお使いいただくために P2	ステアリングボタンについて P8
接続するまえの準備 / 取付車種別 / 機種別の初期設定	... P3	保証書 P9
接続のしかた P4		

ステアリングリモコンアダプターをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本製品を接続すると、カーナビゲーション・カーステレオシステムを車両のステアリングオーディオコントロールボタンから操作できます。

取り付けの前に、この取付・取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく取り付け作業を行ってください。指定以外の取り付け方法や、指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となることがあります。

本製品とカーナビゲーション・カーステレオシステムと、その周辺機器の取り付けには専門技術と経験が必要です。お買い上げの販売店での取り付けをお勧めします。

また、取り付け全般に関しては、この取付・取扱説明書と併せて、取り付けのシステムの取付・取扱説明書も必ずご覧ください。

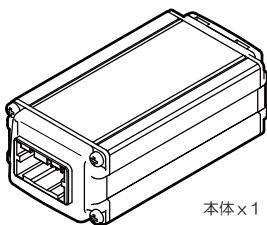
この取付・取扱説明書を読み終わったあとは、必ず保管してください。

📖 アドバイス

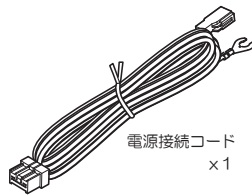
- 取り付ける車両のステアリングにメーカー標準または、メーカーオプションのオーディオコントロールボタンが装備されていない場合、本製品を取り付けても機能しません。
- 車両の仕様や装備によっては、本製品を取り付けても一部または、すべてのステアリングオーディオコントロールボタンが機能しない場合があります。
- 取り付けたカーナビゲーション・カーステレオシステムとその周辺機器は、車両のマルチファンクションディスプレイと連動しません。

キット構成部品をご確認ください

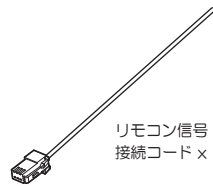
作業前に構成部品が揃っているか
確認してください。



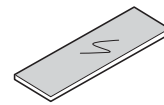
本体 x 1



電源接続コード
x 1



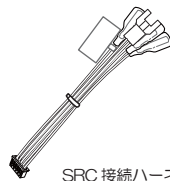
リモコン信号
接続コード x 1



スポンジシート
x 1



ショートコネクタ
(赤) x 1



SRC 接続ハーネス
ダイレクトコード x 1



アルパイン/
カロツェリア
ダイレクトコード x 1



赤外線 LED
コード x 1
(コード長 5m)

主な仕様

【入力】

- ・制御信号源 室内ステアリング信号
- ・電源 DC12V (1A以上必要)
マイナスアース

【その他】

- ・本体寸法 約 W38×H25×D78 (突起部を除く)
- ・待機時消費電流 約 2mA
- ・交換用ヒューズ容量 1A (φ6×30管ヒューズ)

※ 本取付説明書の記載の内容は、調査時(2009年2月現在)のデータに基づいて作成されています。調査後に車両変更、車種追加などで取付情報に変更になる場合がありますのでご注意ください。
※ 本取付説明書に記載の内容および仕様は、改良のため予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。また本取付説明書の一部または全部を無断で転用・転載することを禁じます。
※ FOR SALE IN JAPAN ONLY

安全に正しくお使いいただくために

この取付説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。その表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

警告

- 本品はDC12V仕様以外の車での使用はしない。火災の原因となります。
- 本品を、前方の視界を妨げる場所や、ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダルなどの運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所などには絶対に取り付けしない。交通事故や怪我の原因となります。
- 車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触することが無いよう注意して行う。火災の原因となります。
- 車体のボルトやナットを使用して、機器の取り付けやアースを取る場合は、ステアリング、ブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルト、ナットは絶対に使用しない。これらを使用すると、制動不能や、発火、事故の原因となります。
- 取り付け作業前には、必ずバッテリーのマイナス⊖端子をははずす。プラス⊕とマイナス⊖経路のショートによる感電や怪我の原因となります。
- コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープなどでまとめておく。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻きつくこと事故の原因となり危険です。
- 機器を分解したり、改造しない。事故、火災、感電の原因となります。
- 電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対に止める。電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。
- 取り付けした機器の音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。事故、火災、感電の原因となります。
- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズを使用する。規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。
- 万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な臭いがするなどの異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談する。そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に機器の取り付けと配線はしない。エアバッグ動作を妨げる場所に取付・配線すると交通事故の際、エアバッグシステムが正常に動作しないため、事故の原因となります。
- ドリル等で穴あけ作業をする場合は、ゴーグル等の目を保護するものを使用する。破片などが目に入ったりして怪我や失明の原因となります。
- 接続したコードや使用しないコードの先端など、被覆がない部分は絶縁性テープ等で絶縁する。ショートにより火災、感電の原因となります。

注意

- 本品の取付・配線には、専門技術と経験が必要です。安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。誤った配線をした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。
- 必ず付属の部品を指定通り使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品を損傷したりしっかりと固定できず外れることがあり危険です。
- 雨が吹き込むところなど、水のかかるところや湿気、埃、油煙の多い場所への取り付けは避けてください。機器に水や湿気、埃、油煙が混入しますと、発煙や発火、故障の原因となることがあります。
- しっかりと固定できないところや振動の多いところなどへの取り付けは避けてください。外れて運転の妨げとなり交通事故や怪我の原因となることがあります。
- 直射日光やヒーターの熱風が直接当たるところなどへ取り付けないでください。機器の内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。
- 取付説明書で指定されたとおりに接続してください。正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。
- エアバッグ装着車に取り付ける場合は車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。エアバッグが誤動作する原因となることがあります。
- 車体のねじ部分、シートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まないように配線してください。断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。
- コードが金属部に触れないように配線してください。金属部に接触しコードが破損して火災、感電の原因となることがあります。
- コード類の配線は、高温部を避けて行ってください。コード類が車体の高温部に接触すると被覆が解けてショートし、火災、感電の原因となることがあります。
- 機器の取り付け場所変更時は安全のため必ずお買い上げの販売店へ依頼してください。取り外し、取り付けには専門技術が必要です。
- 本品を車載用として以外は使用しないでください。感電や怪我の原因となることがあります。

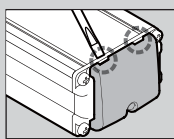
接続するまえの準備

1 ステアリングリモコンアダプターのカバーを取り外す

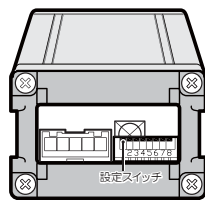
破線部分に細いマイナスドライバーを差し込み、カバーを手前に引き、取り外してください。

アドバイス

設定用カバーを取り外すとき、設定用カバーやケース、内部基板に無理な力を掛けたり傷付けないうちご注意ください。



2 初期設定を行う



下記取付車種別 / 機種別の初期設定を参照し、取り付ける車種 / 機種に合わせて設定スイッチ No.1 ~ No.7 を設定してください。

取付車種別 / 機種別の初期設定

アドバイス

●取り付ける車種と機種に合わせて必ず初期設定を行ってください。初期設定を行わずに接続すると本製品が正しく機能しません。工場出荷時は車種別スイッチ設定 PRFB2、機種別スイッチ設定 設定No.0に設定してあります。

3 取り付ける車種に合わせて表を選び、取付車種別の設定スイッチ (No.5~No.7) を表上図のように切り替える。

車種別スイッチ設定

PRFB2

スイッチ設定



対応車種

グレード	型式	対応年式(西暦)	備考
カイエン	ABA-92A***	'10/03 ~	958(92A)
パナメーラ	ABA-970M***	'09/09 ~	970

●メーカーラインでのクラリオン製HDD/SDナビゲーションシステム装着車

4 取り付ける機種に合わせて表を選び、取付機種別の設定スイッチ (No.1~No.4) を表上図のように切り替える。

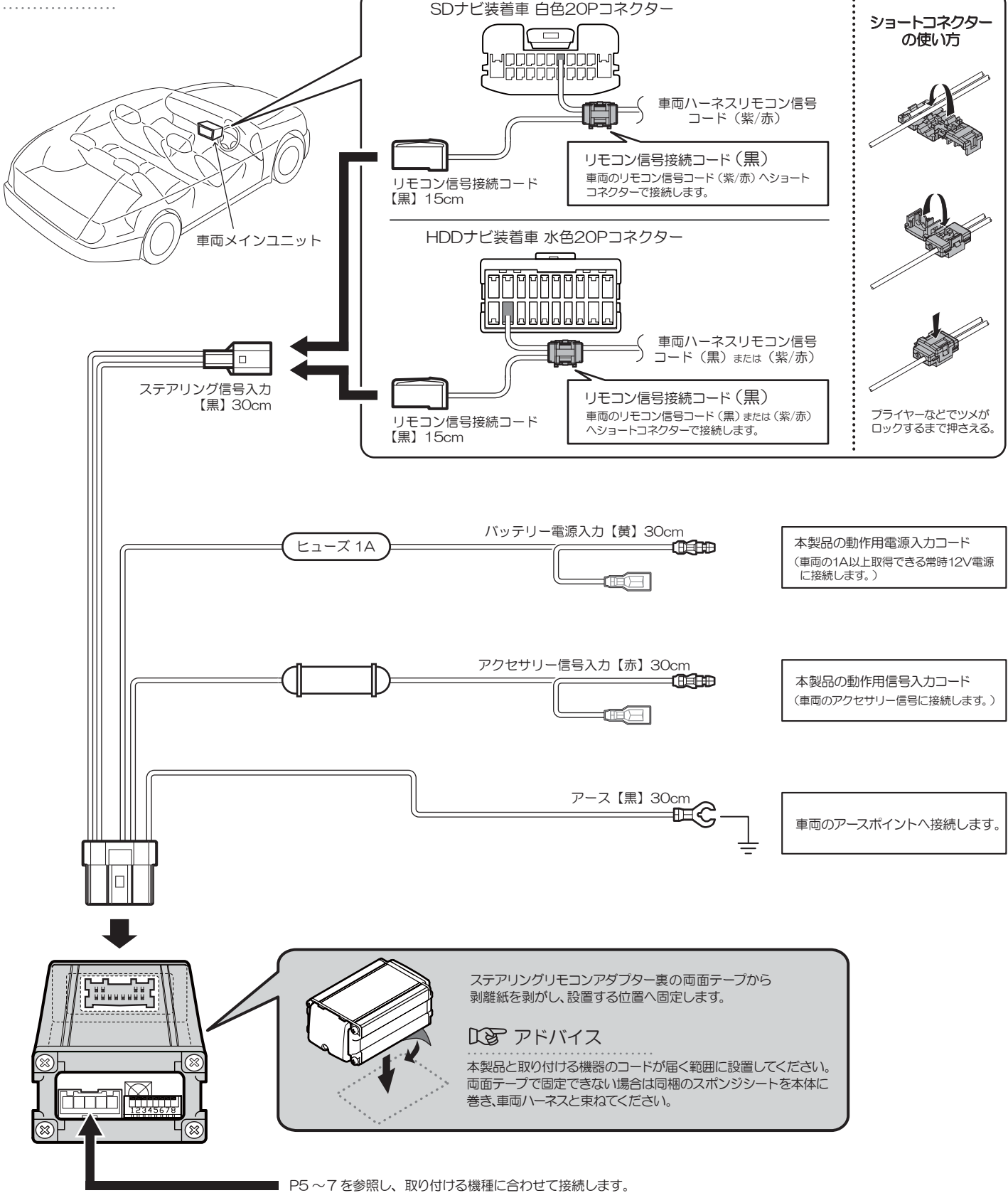
設定No.	機種別スイッチ設定	適用メーカー	プリセット済のリモコン品番	設定No.	機種別スイッチ設定	適用メーカー	プリセット済のリモコン品番
0		ユーザー信号出力モード		8		この設定は使用できません	
1		アルパイン	RUE-4208	9		ケンウッド	NA-R909
2		この設定は使用できません		A		この設定は使用できません	
3		イクリップス AVN用	RMC101	B		パナソニック	YEFX9996531
4		この設定は使用できません		C		この設定は使用できません	
5		カロツェリア 楽ナビ用	CXC8663	D		サンヨー	NVP-RDTV1
6		カロツェリア サイバーナビ用	CD-SR300	E		三菱	890P16410
7		クラリオン	RCB-165-500	F		ユーザー信号登録モード ※詳しくは弊社WEBページから商品詳細ページ内にある「詳細情報」をご覧ください。	

接続のしかた

⚠ 注意

●指定コネクターの端子位置、コード色をよくご確認のうえ、正しく接続してください。誤った接続をすると、車両や本製品の故障の原因となります。

接続概要図



1 初期設定

- ① No.1～No.4 の設定スイッチを取り付ける機種に合わせて変更します。
- ② 8 ページの「ステアリングボタンについて」を参照し、動作パターンを選び、設定スイッチ No.8 を設定します。

< パナソニック >

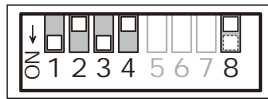
設定No. **B** [No.1・2・4 ON 設定]



動作パターンI/Ⅲ・・・No.8 OFF
動作パターンII/Ⅳ・・・No.8 ON

< カロツェリア >

設定No. **5** [No.1・3 ON 設定]



動作パターンI/Ⅲ・・・No.8 OFF
動作パターンII/Ⅳ・・・No.8 ON

または、

設定No. **6** [No.2・3 ON 設定]



動作パターンI/Ⅲ・・・No.8 OFF
動作パターンII/Ⅳ・・・No.8 ON

2 接続のしかた

- ① ステアリングリモコンを動作パターン [I] または [II] で使用する場合

－ パナソニック －

カーナビゲーションシステムのステアリングスイッチ 1 コード（茶）と SRC 接続ハーネスダイレクトコード（茶）を接続します。
カーナビゲーションシステムのステアリングスイッチアースコード（黒）と SRC 接続ハーネスダイレクトコード（黒）を接続します。

－ カロツェリア －

SRC 接続ハーネスダイレクトコード（茶）と付属のダイレクトコード（茶）を接続します。
SRC 接続ハーネスダイレクトコード（黒）と付属のダイレクトコード（黒）を接続します。
カーナビゲーションのステアリングリモコンコード接続端子とダイレクトコードを接続します。

< 動作パターン [I] >

- 8 ページ「カーナビゲーション・カーステレオシステムの動作一覧」、**ダイレクト接続**（※長 除く）の部分が動作します。

< 動作パターン [II] >

- 動作パターン [I] の動作に追加して、「カーナビゲーション・カーステレオシステムの動作一覧」、**※長** の部分が動作します。

- ② ステアリングリモコンを動作パターン [III] または [IV] で使用する場合

ステアリングリモートコントローラオプション接続コードに赤外線 LED コードを、①の接続に追加して、接続します。

※ 7 ページ「赤外線 LED の取り付けのしかた」参照

< 動作パターン [III] >

- 動作パターン [I] に追加して、「カーナビゲーション・カーステレオシステムの動作一覧」、**赤外線 LED**（**ダイレクト接続** と **※長** 除く）の部分が赤外線出力します。

< 動作パターン [IV] >

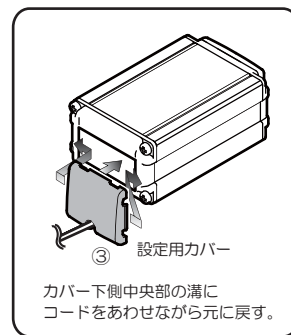
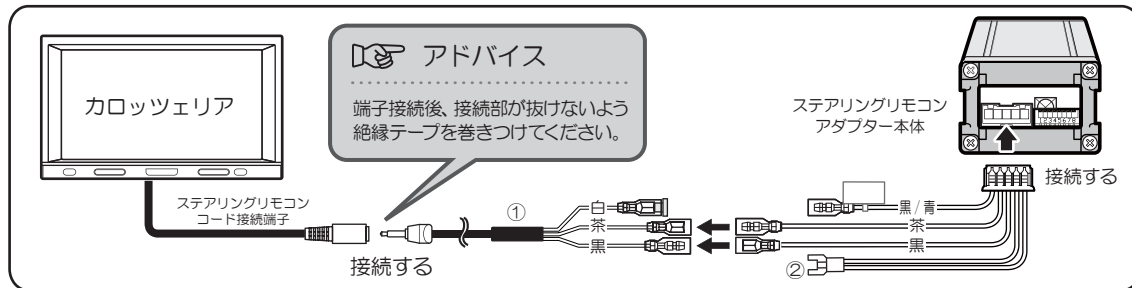
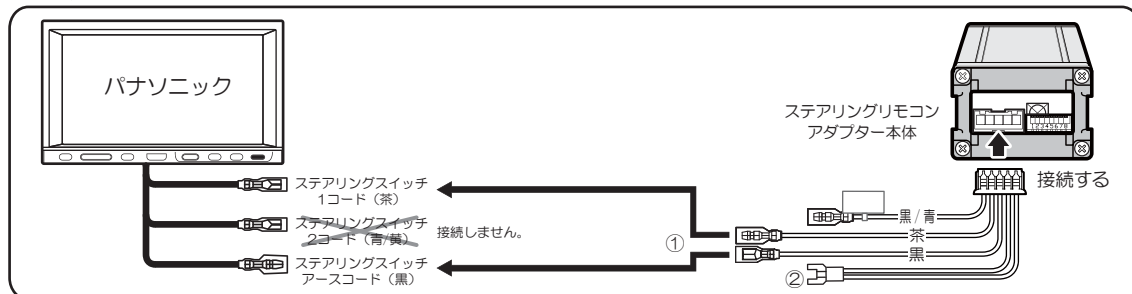
- 動作パターン [III] の動作に追加して、「カーナビゲーション・カーステレオシステムの動作一覧」、**※長** の部分が赤外線出力します。

- ③ ステアリングリモコンアダプターの設定用カバーをもとに戻します。

- ④ 全ての配線の接続を終えてから、カーナビゲーションを起動します。

注意 車両のコネクター類は、全て接続してください。車両コネクターを接続せずに、キーポジションを変更すると警告灯が点灯する原因となります。

- ⑤ パナソニック製カーナビゲーションの場合は「3 パナソニック製カーナビゲーションの初期設定」を必ず行ってください。



3 パナソニック製ナビゲーションの初期設定

- ① 全ての配線の接続を行ってから、ナビゲーションを起動します。
- ② ツートップメニュー ⇒ 「情報 / 設定」 ⇒ 「各種設定」 ⇒ 「初期設定」 ⇒ 「ステアリングスイッチの設定」
- ③ カーナビゲーションの画面の指示に従い、ステアリングボタンを登録します。

アドバイス

車両によっては、ステアリングボタンを連続押下※しても信号が連続出力されないため、学習できない場合があります。
※ジョグダイヤルタイプステアリングボタンは、連続して回してください。

－ 学習できない場合 －

- ① ステアリングボタンをクリックする要領で何度も押下してください。
- ② クリック動作でも学習できない場合は、ステアリングスイッチの VOL (←) ボタンを15秒以上押下し続けてください。学習支援モードが開始されます。学習支援モードが開始されてから、30秒以内にカーナビゲーションの「ステアリングスイッチの設定」を開始してください。いずれかのステアリングスイッチを押下すると30秒間、学習支援モードが延長されます。30秒間、ステアリングスイッチを押下しない状態が続くと学習支援モードが解除され、通常動作に切り替わります。※学習支援モードではステアリングボタンを一度押すだけで、2秒間連続して信号を出力します。

< 設定例 >

CANバスアダプターⅢ 取付・取扱説明書の「ステアリングリモコン動作範囲」表の「③」ボタンに「MUTE」機能を割り当てる場合は、ナビゲーションの画面指示の「1秒以上長押し」ではなく、「③」ボタンを0.5秒間押してください。

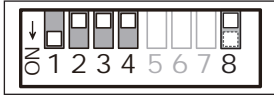
CANバスアダプターⅢ 取付・取扱説明書の「ステアリングリモコン動作範囲」表の「⑥長」ボタンに「TRACK DOWN」機能を割り当てる場合は、ナビゲーションの画面指示の「1秒以上長押し」ではなく、「⑥長」ボタンを2秒間以上長押ししてください。

※学習支援モードを利用して、複数のステアリングボタンを登録する場合は、ステアリングボタンの登録完了から次の登録まで3秒以上、ステアリングボタンから手を放してください。

1 初期設定

- ① No.1 ~ No.4 の設定スイッチを取り付ける機種に合わせて変更します。
- ② 8 ページの「ステアリングボタンについて」を参照し、動作パターンを選び、設定スイッチ No.8 を設定します。

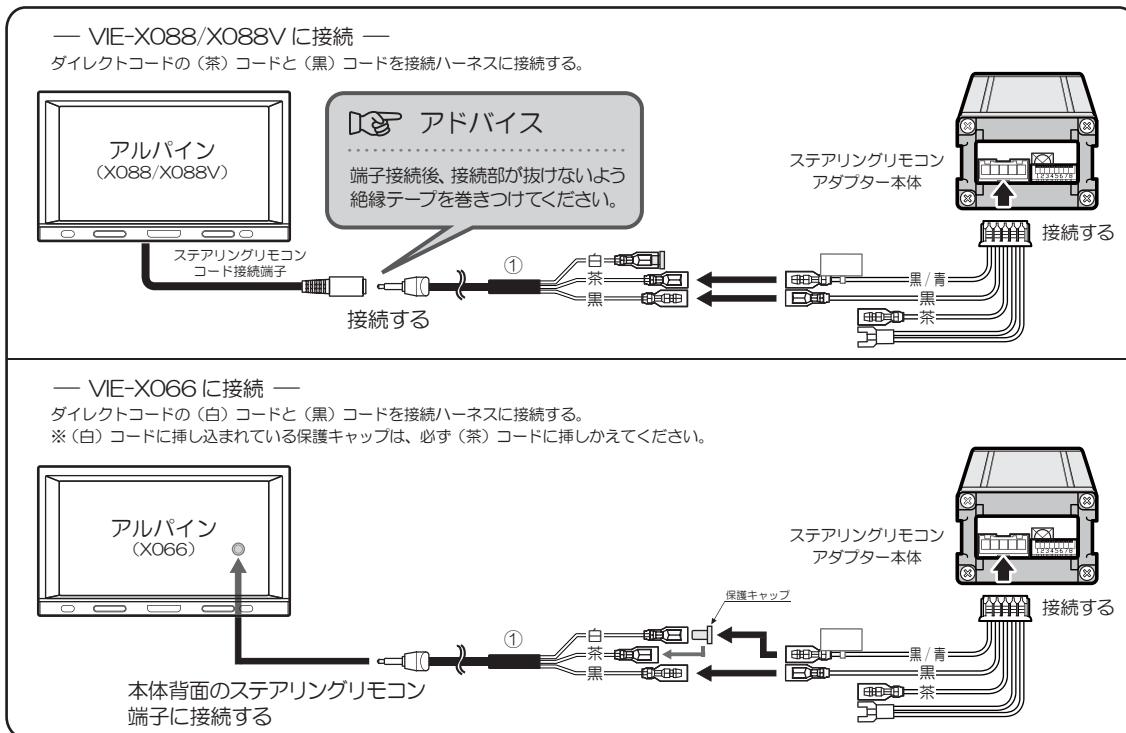
設定No. 1 (アルパイン)



【No.1 ON 設定】
 動作パターンⅢ …… No.8 OFF
 動作パターンⅣ …… No.8 ON

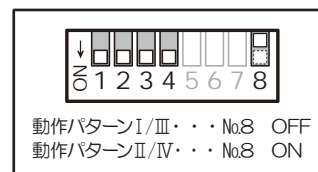
2 接続のしかた

- ① ステアリングリモコンを動作パターン [Ⅲ] または [Ⅳ] で使用する場合
 SRC 接続ハーネスダイレクトコード (黒 / 青) と付属のダイレクトコード (茶) を接続します。
 ※ VIE-X066 に接続する場合は、ステアリングリモートコントロールオプション接続コード (黒 / 青) と付属のダイレクトコード (白) を接続します。
 ステアリングリモートコントロールオプション接続コード (黒) と付属のダイレクトコード (黒) を接続します。
 カーナビゲーションのステアリングリモコンコード接続端子とダイレクトコードを接続します。
 < 動作パターン [Ⅲ] >
 ● 8 ページの「カーナビゲーション・カーステレオシステムの動作一覧」、**赤外線 LED** (※長 除く) の部分が動作します。
 < 動作パターン [Ⅳ] >
 ● 「カーナビゲーション・カーステレオシステムの動作一覧」、**赤外線 LED** (※長 含む) の部分が動作します。
 - ② ステアリングリモコンアダプターの設定用カバーをもとに戻します。
 - ③ 全ての配線の接続を終えてから、カーナビゲーションを起動します。
- 注意** 車両のコネクター類は、全て接続してください。車両コネクターを接続せずに、キーポジションを変更すると警告灯が点灯する原因となります。



1 初期設定

- No.1 ~ No.4 の設定スイッチを取り付ける機種に合わせて変更します。
- 8 ページの「ステアリングボタンについて」を参照し、動作パターンを選び、設定スイッチ No.8 を設定します。
設定値は 3 ページの「接続機種別の初期設定」をご覧ください。
代表的なカーステレオ・カーナビゲーションの赤外線リモコン信号は、予めステアリングリモコンアダプターに収録してあります。また、任意で赤外線リモコンの信号を登録することもできます。



- 赤外線リモコンの登録に関する情報は、当社 WEB ページから SRC-HL3 の商品詳細ページ内にある「詳細情報」をご覧ください。
- ステアリングリモコンを動作パターン [Ⅲ] または [Ⅳ] で使用する場合
SRC 接続ハーネスダイレクトコードに赤外線 LED コードを、接続します。
< 動作パターン [Ⅲ] >
● 8 ページの「カーナビゲーション・カーステレオシステムの動作一覧」、**赤外線 LED** (※長 除く) の部分が動作します。
< 動作パターン [Ⅳ] >
● 「カーナビゲーション・カーステレオシステムの動作一覧」、**赤外線 LED** (※長 含む) の部分が動作します。
- 全ての配線の接続を終えてから、カーナビゲーションを起動します。
注意 車両のコネクター類は、全て接続してください。車両コネクターを接続せずに、キーポジションを変更すると警告灯が点灯する原因となります。

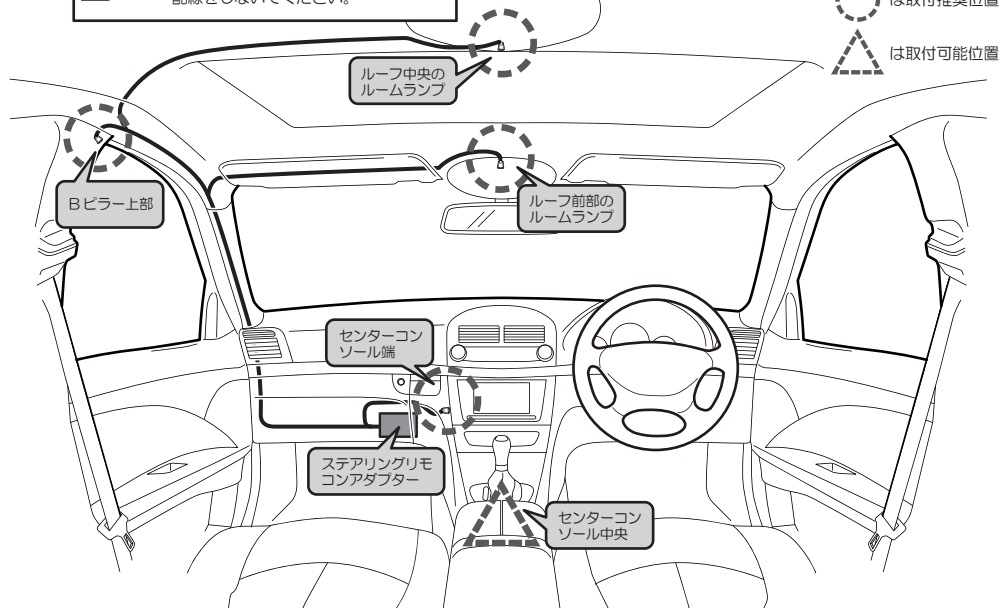
2 赤外線 LED の取り付けのしかた

- 赤外線送信部を取付推奨位置の接続コードが届く範囲で、発光部が取り付けられる機器の赤外線受信部へ向くような位置を探し、選んだ位置で機器がステアリングボタンから正しく操作できるかテストする。(図A)
- 全てのステアリングボタンの正常動作が確認できたら、赤外線送信機の発光部裏面の両面テープから剥離紙を剥がし取付推奨位置または、取付可能位置に固定します。(図B)
- 赤外線送信機の接続コードを市販のハーネス固定テープやナイロンバンドなどで固定しながら配線し、接続コードをステアリングリモコンアダプターの図Cの矢印コネクターに接続する。
- ステアリングリモコンアダプターに接続した赤外線送信機コードを設定用カバー下側中央部の溝にあわせながらカバーをもとに戻す。(図D)

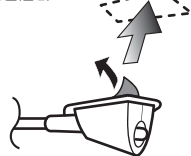
アドバイス

- テストのとき取り付ける機器は仮接続でも構いませんが、必ず設置する位置に正しく固定してからテストを行ってください。
- テストしたときと同じ取り付け位置でも、赤外線送信部の向きによっては取り付けられる機器が操作できないことがあります。必ず赤外線送信部を設置するときと同じ向きに正しく固定してからテストを行ってください。
- 取り付ける機器の赤外線受信部に直射日光、ランプなどの強い光があたっていると機器が操作できない場合があります。
- 取り付ける機器の前面パネルに可動部分(画面のチルト機構など)があるときは、前面パネルの角度によっては操作できないことがあります。必ず通常使用するすべての角度でテストを行ってください。
- ルームランプのレンズ内などの遮蔽物があるところに赤外線送信機の発光部を設置すると、赤外線的光量が不足し機器が操作できない場合があります。赤外線送信機の発光部はなるべく露出するように取り付けてください。
- コンソールなどのフロア側へ赤外線送信機の発光部を設置するときは、搭乗者や手荷物などで赤外線が遮られる恐れのあるところを避けてください。
- 固定する前に両面テープを貼る面の汚れや水分、油分などを取り除いてください。
- 接続コードは車両のエッジやクリップ、ネジ部を避けて配線し、内装トリムの復元時にはかみ込まないように注意してください。

図A **警告** エアバッグの動作を妨げる取り付けや、配線をしないでください。

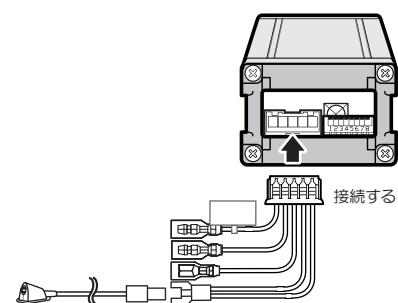


図B 赤外線送信部



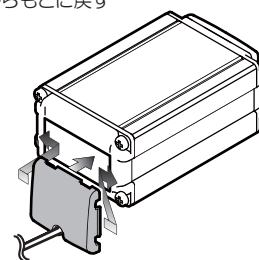
裏面の両面テープから剥離紙を剥がし、赤外線送信機の送信部分を上図の推奨固定位置を参考に固定してください。

図C ステアリングリモコンアダプター本体に SRC 接続ハーネスダイレクトコードと赤外線 LED コードを接続



図D 設定用カバー

カバー下側中央部の溝にコードをあわせながらもとに戻す



ステアリングボタンについて

警告

- 運転中にステアリングボタンを操作するときは、ステアリングボタンやマルチファンクションディスプレイ、カーナビゲーション・カーステレオシステムの画面などを注視しないでください。交通事故やけがの原因となります。

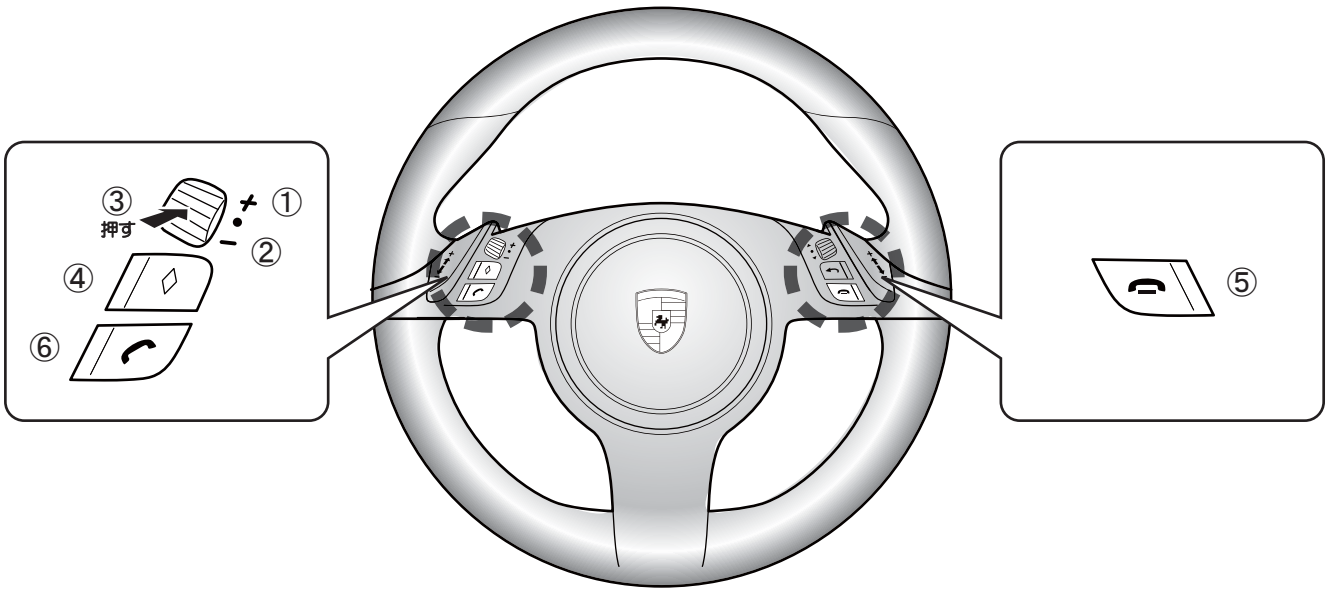
注意

- ステアリングボタンでオーディオ以外の車両機能の項目を操作するときは、必ずカーナビゲーション・カーステレオシステムの電源をオフしてから操作してください。取り付けた機器が予期せぬ動作をし、故障の原因となります。

アドバイス

- 車両の仕様や装備によっては、オプションキットを取り付けても一部または、すべてのステアリングオーディオコントロールボタンが機能しないことがあります。
- 取り付けたカーナビゲーション・カーステレオシステムと、車両のマルチファンクションディスプレイは連動しません。
- マルチファンクションディスプレイの項目によっては、ステアリングボタンの操作を行うと表示や設定が切替ることがあります。項目の変更について詳しくは車両付属の取扱説明書をご覧ください。

イラスト内に番号表記してあるステアリングボタンで、取り付けたシステムの一部機能を操作できます。



- 番号表記のないボタンは、マルチファンクションディスプレイの項目操作、もしくは車両機能の操作用ボタンです。マルチファンクションディスプレイや車両機能について詳しくは車両付属の取扱説明書をご覧ください。
 - イラストは代表車種のステアリングを描いています。車種によってはステアリングやボタンの形状、あるいはボタンのマークが異なることがあります。
 - 取り付けたシステムによっては動作が異なったり、動作しないことがあります。
 - 表中で“長押しマーク” (③⑤)などの付いた番号は、その番号のボタンを長押し(2秒以上)することで機能します。
- ※ プリセットおよびフォルダー機能は、赤外線LEDのみを接続した場合に動作します。また、取り付けたシステムによっては動作が異なる場合があります。

ステアリングボタンごとの動作については下表をご覧ください。

ステアリングリモコン 動作範囲	赤外線 LED									
	ダイレクト接続								プラス 赤外線 LED	
カーナビゲーション・ カーステレオシステム の動作一覧	ボリューム(4)	ボリューム(5)	ミュート ソースオフ	ソース	選局(4)(*) トラック	選局(5) トラック	シフト(4) プリセット(4)* フォルダー(4)*	シフト(5) プリセット(5)* フォルダー(5)*	発話	終話
カイエン パナメーラ	①	②	③	④	⑤	⑥	⑤長	⑥長	③長	④長

アドバイス

パナソニックダイレクト接続をおこなう場合は、ステアリングリモートコントローラーオプションに同梱の取説“3 パナソニック製ナビゲーションの初期設定”のアドバイス内、学習支援モードで登録作業を行ってください。

動作パターン	接続	設定スイッチ No.8 設定	動作範囲
I	・カロッツェリアダイレクト接続のみ ・パナソニックダイレクト接続のみ	OFF	ダイレクト接続の部分が動作 (※長 除く)
II	・「Iの接続」+ No.8 ディップスイッチ ON	ON	ダイレクト接続の部分が動作 (※長 含む)
III	・赤外線 LED コード接続のみ ・アルパインダイレクト接続 ・カロッツェリアダイレクト接続 + 赤外線 LED コード接続 ・パナソニックダイレクト接続 + 赤外線 LED コード接続	OFF	赤外線 LED 部分が動作 (※長 除く)
IV	・「IIIの接続」+ No.8 ディップスイッチ ON	ON	赤外線 LED 部分が動作 (※長 含む)